

第42回全国高等学校総合文化祭 産業(工業)部門  
2018 信州総文祭 マイコンカーラリー大会

平成30年 8月9日～11日

会場：公立諏訪東京理科大学



ふたたび その限界を 超える夏



第42回 全国高等学校総合文化祭 産業(工業)部門



2018 信州総文祭

National High School Micom Car Rally Festival 2018 in Shinshu

マイコンカーラリー大会

平成30年 8月9日(木)～11日(土) 公立諏訪東京理科大学

主催

文化庁 公益社団法人全国高等学校文化連盟 長野県 長野県教育委員会 茅野市 茅野市教育委員会 長野県高等学校文化連盟



2018 信州総文祭マイコンカーラリー

大会公式サイト

<http://www.mcr-shinshu.net/>

**MCR** Micom Car Rally  
in Shinshu 2018  
National High School Micom Car Rally Festival

2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会事務局  
(長野県飯田 OIDE 長姫高等学校内)  
〒395-0804 長野県飯田市鼎名古熊 2535-2  
Tel. 0265-22-7117 Fax. 0265-53-4995

## 大会前日 8月8日（水曜日）

台風13号が日本列島に接近していました。大会会場の茅野市は、その予想進路上にありました。長野県への台風の再接近見込は9日（木曜日）の午前中。それはちょうど大会に参加する皆さんが茅野へと移動してくる時間帯でした。

8月7日に開幕した2018信州総文祭は2日目を迎え、産業（工業）部門の会場となる公立諏訪東京理科大学では、産業（工業）部門に先立って自然科学部門が開かれていました。



この日、産業（工業）部門、2018信州総文祭マイコンカーラリー大会では、荷物の搬入と会場の設営作業を実施しました。台風が接近中にもかかわらず時折青空も見える天候でした。メイン会場となる食堂には横幅10mの横断幕を設置。天窗には業者に依頼して遮光用の板を貼り、会場入り口には立て看板も設置しました。選手控室の準備もおこない、いよいよ始まるという雰囲気が高まりました。



## 大会1日目 8月9日（木曜日）

いよいよ大会が始まるこの日、心配した台風13号は東寄りの進路を取り、長野県への直撃は回避されました。公共交通機関への影響も最小限のようで、大会に参加する皆さんも順調に集合できそうでした。



### 運営スタッフの集合と打合せ

運営スタッフの集合は8時40分。会場の公立諏訪東京理科大学食堂には、長野県内各地から、またボランティアスタッフとして日本各地からスタッフが集まりました。この日は午前中に会場の設営を完了する必要があったため、準備手順の細かい打合せをおこない、その後準備作業に入りました。



## 机・椅子の移動作業

大会会場は大学食堂を使用するため、まずは食堂内の机と椅子を移動する作業をおこないました。スタッフが着用したオレンジ色の服は、2018 信州総文祭の全部門が統一したものです。



## コースの展開

机・椅子の片付いたスペースに、競技コースを敷いていきました。会場内にはコースのほか観覧用の仮設スタンドも設置するため、図面に従って慎重に位置決めしながらコースを配置してもらいました。



## 観覧席の設置

観覧席として3段に段差をつけたスタンドを用意しました。ベースとなる台をレンタル業者から搬入してもらい、それを並べてスタンドを設置していきました。



## 選手控室の準備

選手控室となる第一学生ホールでは、選手に配布する物を各選手の席に事前に配布する作業と、各机へ電源を配線する作業をおこないました。



## 参加者受付の準備

2号館エントランスでは、参加者の受付に備えて、ビブスの学校別仕分け作業、名札ストラップの配布準備などをおこないました。



## 長野県内高等学校の展示

マイコンカーラリー大会会場に隣接するエントランスでは、工業系の学科を持つ長野県内の高等学校が展示ブースを設け、来場者に各学校の取り組みを紹介する準備が整いました。



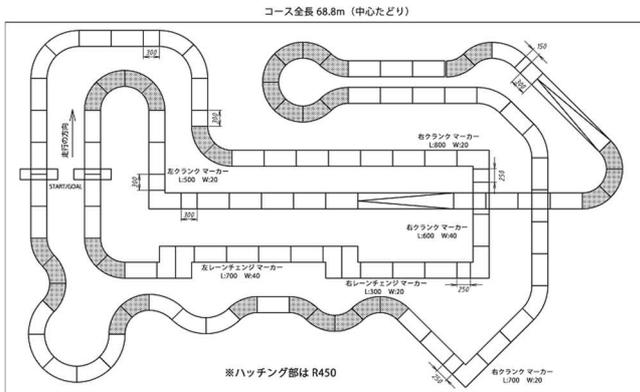
## 大会コース

今大会のコースは全長 68.8 メートル。予選は時計回りの周回、決勝は反時計回りの周回とし、決勝ではコースレイアウトを一部変更しました。

高速クランクから連続する低速クランク、それに続く連続レーンチェンジと、テクニカルな部分が続くセクション。各部の仕上がり具合がタイムに反映されます。直線から一気に坂を上り、上ったあと長い直線から急カーブし、下った直後の切り返す坂のセクション。坂の頂上から直線へ、直線からカーブへ、カーブから下り坂へ、下り坂からカーブへと、各部のつながりでの安定度が求められます。逆走の決勝では長い直線から下り坂に進入するため、直線部分でスピードを出しすぎると下り坂で制御不

能になる危険が出てきます。しかし減速しすぎるとタイムロスしてしまいます。

このコースレイアウトは、信州の山並みと、そこから昇る朝日、湖に流れ込み流れ出る川、谷間に架かる橋など、信州の自然を表現して構成したレイアウトでした。



### 参加者の受付

13 時からの受付開始を前に、各地からの参加者が到着しはじめました。茅野駅からのシャトルバスが到着すると、多くの参加者が一気に会場入りしました。



## 車検

試走開始を前に、車検を実施しました。車検はコースを傷つけないという観点から車検用の坂道コースを使用した最低地上高の確認のみ実施しました。



## 選手控室

選手控室として使用した第一学生ホールには、続々と参加者が入場し、試走の準備をおこなっていました。選手の机には大会日程を印刷した厚紙を用意しておき、整備作業はその紙の上でおこなってもらうことで、日程の把握と機の保護を両立させました。



## 試走

14時の試走開始時間を待って、一斉に試走が始まりました。試走は16時半までの2時間半。その間はフリー走行方式で、何回でも試走可能としました。また、控室近くには簡易的な試走コースも用意し、こちらは試走時間に関係なくいつでも試走可能としました。これにより、本コースでの試走が必要ない簡単な動作確認の走行は簡易コースで済むようになって、本コースでの試走待ち時間の短縮ができたほか、効率的な調整がおこなわれ、大会での完走率向上につながったとも考えています。

試走の際には翌日以降の大会本番同様に審判やアナウンスなどの業務も運営リハーサルを兼ねておこないました。この中で改善点も見つかり、翌日の予選走行は一層円滑に運営することができました。



## 交流会（生徒部会）

試走終了後、16時45分からは、この日最後のイベントとなる交流会をおこないました。

長野県内のマイコンカーに取り組む生徒たちで2月に発足した「生徒部会」。その生徒部会が計画し、準備してきた交流会。大会を通して生徒同士の横のつながりをつくる、そのきっかけとなるよう、グループ単位で自己紹介したあと、グループ対抗形式でクイズをおこないました。途中で2018信州総文祭の大会マスコットキャラクターの「信州なび助」も登場したほか、2018信州総文祭の生徒実行委員会が準備してきた「シードペーパー」（花の種子を漉き込んだもの）の配布もおこないました。

交流会の最後は、大会会場で記念撮影をおこないました。



## 大会2日目 8月10日（金曜日）

開会式の朝。台風が通過し、朝から青空が広がりました。



## 開会式

### オープニング

開会式の会場は大会コースの設置された食堂。コース周辺の座席を参加生徒が埋めます。

開会式の開始を前に、長野県高等学校文化連盟、放送専門部が制作した信州紹介のオープニングムービーを上映しました。これは放送専門部が今回の2018信州総文祭の開催に合わせて制作したもので、信州の自然と文化が紹介された素晴らしいものでした。



### 大会長挨拶

2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会大会長の、長野県松本工業高等学校、青柳徹校長先生より挨拶をいただきました。



### 主催者挨拶

2018 信州総文祭 産業（工業）部門の開催地である茅野市を代表して、茅野市教育長、山田利幸先生より挨拶をいただきました。茅野市で発掘された土器の説明など、茅野市の文化的魅力にも触れていただきました。



### 会場側挨拶

大会会場の公立諏訪東京理科大学。今回の総文祭開催のため、会場の使用について全面的に協力していただきました。会場側の代表として、河村洋学長先生からご挨拶をいただきました。



### 講師・審査員紹介

2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会では、マイコンカーラリーの普及や発展、活性化に貢献されてきた3人の方に講師・審査員をお願いしました。

河野純也さん、徳永弦久さんは、数多くのマイコンカーラリーの大会で上位入賞してきた実績があり、現在もマイコンカーラリーを牽引する方々です。また、矢澤美貴さんは、ジャパンマイコンカーラリー2013 全国大会 Advanced Class の優勝者で、長野県駒ヶ根工業高校および大会会場の諏訪東京理科大学の出身者です。長野県の高校生として、また女性としてもジャパンマイコンカーラリーで初優勝しました。



### 開会宣言

開会式の最後は、2018 信州総文祭 産業（工業）部門生徒部会長の、長野県飯田OIDE長姫高等学校3年、池田尚央さんが大会の開会を宣言しました。



## 予選走行

9時30分、予選開始。

予選は時間内フリー走行でベストタイムを予選記録とする方法としました。

参加台数が多かったため、全選手同時とはせず、参加校を2つのグループに分け、グループごとに時間を割り振って実施しました。

東日本の学校を中心とした1グループは、9時30分～10時30分までと、11時50分から12時50分までの2回、西日本および長野県の学校の2グループは、10時40分～11時40分までと、13時～14時までの2回を走行時間として割り振りました。

予選通過台数は、Basic Classが30台、Advanced Classが50台。ただし単純に予選上位者から選出するのではなく、各学校の予選最上位の選手に決勝出場権を与える方法とし、完走者がいなかった学校でも監督推薦で決勝進出者を決めてもらいました。これにより、すべての学校が最終日の決勝に進出できるようにしました。これらの決定ののち、残った決勝枠には予選上位者から選出したことで、1校から複数台が決勝に進出した学校も数多くありました。



## 予選 選手控室の様子

予選の間、選手控室では選手たちが一生懸命調整をしていました。



## 中島副知事の来訪

14時までの予選が終盤を迎えた頃、長野県の中島恵理副知事が大会会場に来訪しました。予選の走行を見ていただいた後、長野県の高校生からマイコンカーの仕組みについて説明を受けていました。初めて見るマイコンカーに興味津々だった様子です。



## 技術交流会① プレゼン

14時半からは、技術交流会①として、3人の講師の皆さんからプレゼンをしていただきました。

### 河野純也さん

「勝てるマイコンカーを設計するために」と題してお話していただきました。

自動車関係の仕事をしている河野さんは、言わば車のプロ。駆動減速比と加速性能について、ホイールベースと旋回性能の関係について、それぞれ大変具体的な数値、実験結果を挙げながら説明して下さいました。単なる憶測ではない内容で、すぐに実践・研究できる内容でした。



### 徳永弦久さん

「上位入賞率 80%を支えるコーナの曲がり方」と題してお話していただきました。

題名の通り、上位入賞の常連である徳永さん。その上位入賞を支えるのはコーナリングに秘訣があるということで、そのノウハウを公開していただきました。ハードウェアの面からは、タイヤの素材と接地面積について、ソフトウェアの面からは、駆動力配分の工夫について、ご自身の体験・経験を示しながら説明して下さいました。やはりすぐに実践・研究できる内容でした。



## 矢澤美貴さん

「とあるマイコンカーラリーストの青春」と題してお話していただきました。

矢澤さんは、高校時代に寸暇を惜しんでマイコンカーに没頭しましたが、高校に入学してすぐそうだった訳ではなく、ある転機があったこと、その後の、まさに青春をかけたマイコンカーへの取り組みと全国優勝までの道のりについて、また高校卒業後に大学で取り組んだものづくりについて、飾らず素直に話していただきました。その中で、ものづくりへの情熱と楽しさを一生懸命伝えていただいたと感じます。最後に、「負けても終わりじゃない 諦めたら終わり」という言葉を、後輩である高校生たちに贈っていただきました。高校生はもちろん、指導する先生方にとっても勇気の出る内容だったと思います。

プレゼンを終えた矢澤さんには、母校である諏訪東京理科大学の河村学長先生から、サプライズでプレゼントが贈られました。



## 技術交流会① デモ走行

技術交流会①の最後は、河野純也さんと徳永弦久さんにデモ走行をお願いしました。

それぞれ、簡単に車体の説明をしていただいた後、解説を交えて走行していただきました。



## 中間計時システム

デモ走行では、今回の2018信州総文祭マイコンカーラリー大会に合わせて製作した「中間計時システム」を使用しました。このシステムは、ジャパンマイコンカーラリー2015全国大会 Advanced Classで優勝した長野県飯田OIDE長姫高等学校卒業生の小池魁舟さんが設計・製作したもので、スタート地点とコースの途中に設置したセンサによって、コース途中の計測点通過時の中間計時を即座にプロジェクタへ表示するだけでなく、それまでの最速者とのタイムの比較をして、現在最速者よりも先行していれば緑色表示、遅れていれば黄色の表示がされ、一目でレースの状況が把握できるものでした。



## 横Gコンテスト

15時50分、横Gコンテスト開始。

直線コース用に静止状態で置いたマイコンカー。直線コースを徐々に傾斜させていき、傾斜角何度まで滑り落ちずに耐えられるかを競う「横Gコンテスト」。元々は石川県の先生が考案したのですが、競技として実施したのは今年のプレ大会が初めてだったと思います。

今回は、競技の実施に向けて、自動でコースを傾斜させながら傾斜角を演算、算出し、プロジェクタに表示する競技装置を製作しました。車体が滑り落ちるのも自動検出し、傾斜を停止するようになっていました。

競技の結果はもちろんですが、スクリーンに大写しされるマイコンカーの構造にも興味が湧いたのではないのでしょうか。優勝は、今年のプレ大会の優勝記録を上回る傾斜角 69.22° という驚異的な記録を出した栃木県立宇都宮工業高等学校の鈴木俊祐さんでした。



## 物販ブース

会場の一角に設けられた物販ブースでは、2018 信州総文祭 産業（商業）部門の協力により、地元の長野県諏訪実業高等学校の生徒が食品の販売をおこなっていました。また、産業（工業）部門では、2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会の記念タオルを販売しました。今回の大会のコースレイアウトがデザインされたものでした。

どちらも、観戦に来場していただいた皆さんや、大会参加の皆さんに購入していただき、タオルは完売することができました。



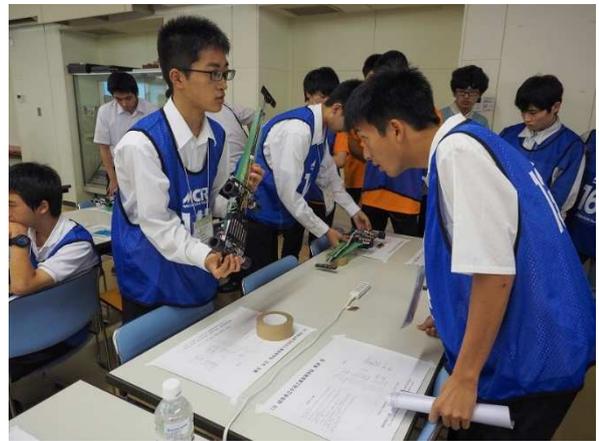
## 技術交流会②

17時、技術交流会②開始。

この時間は、選手控室に各自のマイコンカーを展示した状態で、控室内をフリーに見て回りながら技術交流をする時間としました。日本各地のこれだけ沢山のマイコンカーが展示された状態で技術交流をした前例は、おそらくないかも知れません。

ジャパンマイコンカーリーの上位入賞校なども多く参加した今回の大会。それらの車体を直接見て、製作者に話を聞く。会場のあちこちで新しい交流が生まれていきました。

こうしてマイコンカーラーの新しいつながりが生まれ、お互いに何かを得て、それが日本各地に伝わっていくこと。2018 信州総文祭マイコンカーラー大会が目指した一つの形です。





### 生徒部会 呉工業高校に向けて

平成 30 年 7 月、西日本を襲った豪雨災害により、2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会への参加を予定していた広島県立呉工業高等学校が参加を断念する事態となりました。

2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会では、呉工業高校を大会参加校の仲間と考え、生徒部会を中心として呉工業高校を激励する活動をおこなうことにしました。

選手控室に用意された色紙には、大会参加の多くの皆さんが激励のメッセージを書き込んでいました。この色紙は、後日呉工業高校に届けられました。

仲間を思う心も、2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会の一つの形です。



### シャトルバス

大会 2 日目が終了し、参加者の皆さんは輸送バスに乗り込んで各宿泊先へ向かいました。



## 大会3日目 8月11日（土曜日）

大会最終日。決勝に向け、前夜のうちに競技コースは逆走りのレイアウトへ変更され、参加者の到着を静かに待っていました。

2号館のエントランスでは観覧者の受付準備が整い、来場者を待っていました。また、会場入口には、産業（農業）部門が育ててきた花々がプランターに入れられ、咲きそろっていました。このプランターには、連日の猛暑の中、朝夕2回の水やりをしました。



## 決勝 1 回目

前日の予選結果より、決勝に進出したのは Basic Class 30 台、Advanced Class 50 台。  
会場入りした選手たちは、逆走行に変更されたコースレイアウトを確認し、決勝に向けた最終準備を進めていました。

決勝は 2 回の走行をおこない、その合計タイムで最終順位を決定する方法。従って、2 回とも完走することが上位進出の最低条件になります。

決勝 1 回目は予選の下位者から上位者の順で 2 台同時に走行。その際のスタートコースは予選下位者が 1 コース (OUT)、上位者が 2 コース (IN) としました。

8 時 45 分から Basic Class 決勝 1 回目の参加者の召集を開始。決勝開始前に決勝出場者全員を招集して着席してもらいました。これはすべての決勝出場者に競技の進行状況が分かるようにすることと、競技の進行をスムーズにすることという狙いがありました。

9 時、Basic Class 決勝 1 回目開始。決勝 2 回目への進出は 1 回目の上位 10 台。予選記録のトップ 10 台は 30 秒を切る記録だったため、30 秒付近が決勝 2 回目への進出ラインになると予想されました。結果は、和歌山県立紀北工業高等学校と長野県岡谷工業高等学校が 2 台ずつ、静岡県立科学技術高等学校、宮崎県立延岡工業高等学校、岐阜県立可児工業高等学校、栃木県立栃木工業高等学校、石川県立金沢北稜高等学校が各 1 台、合計 10 台が決勝 2 回目へ進出することになりました。





Basic Class 決勝 1 回目最終組。予選 2 位の愛媛県立新居浜工業高等学校、神野成央樹さんと、予選 1 位の和歌山県立紀北工業高等学校、玉置拳斗さん。神野さんは惜しくもコースアウト、玉置さんは決勝 1 回目最速の 28.50 秒を出しました。

9 時 40 分、Advanced Class 決勝 1 回目開始。決勝 2 回目への進出は 1 回目の上位 20 台。予選上位者の記録は 15~16 秒台。決勝 2 回目に進出するためには 17 秒を切るタイムが欲しい展開が予想されました。結果は、長野県駒ヶ根工業高等学校が 5 台、和歌山県立紀北工業高等学校と岐阜県立大垣工業高等学校が 3 台ずつ、富山県立富山工業高等学校と長野県飯田 O I D E 長姫高等学校が 2 台ずつ、岐阜県立可児工業高等学校、愛知県立春日井工業高等学校、愛媛県立新居浜工業高等学校、香川県立観音寺総合高等学校、富山県立砺波工業高等学校が各 1 台、合計 20 台が決勝 2 回目へ進出することになりました。





Advanced Class 決勝1回目最終組。予選タイム3位の和歌山県立紀北工業高等学校、西祐利さんと、予選タイム1位の岐阜県立可児工業高等学校、近藤雅裕さん。西さんが予選記録を上回る15.52秒を出せば、近藤さんは更にそれを上回る15.50秒。僅か0.02秒差の接戦でした。

### デモ走行

決勝1回目を終えた後、決勝2回目との間にデモ走行の時間を用意しました。

前年のプレ大会では実施した、一般社会人を対象とした「Master Class」が今回の総文祭では諸事情により開催できず、その代わりに一般社会人のマイコンカーの走りを披露していただく機会としてデモ走行をおこなうことにしました。その走りだけでなく、マイコンカーの技術紹介や、マイコンカーに込めた思い、情熱、マイコンカーに向き合う姿勢など、多くのことを伝えてほしいと考えたからです。

参加協力をお願いしたところ、数名の先生が快く参加してくださいました。

**深澤則正さん**

昨年のプレ大会 Master Class 優勝者の深澤さん。今年は指導されている岐阜県立大垣工業高等学校の生徒さんによる GR-PEACH 画像処理マイコンカーのデモ走行と合わせて参加していただきました。



**黒木慎二さん 清水篤さん**

宮崎県から参加していただいた黒木さんと、愛媛県から参加していただいた清水さん。2人とも、Basic Class のレギュレーションに沿ったマイコンカーでのデモ走行でした。



### 星野啓輝さん

教え子の高久祐仁さんと一緒に、センサーバーレスマイコンカーの走行を披露していただきました。



### 三輪秀幸さん

学生時代から高性能なマイコンカーを作り続けている三輪さん。今回はセンサーバーレスのマイコンカーで走行していただきました。



## 決勝 2 回目

いよいよ 2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会の優勝者が決定する決勝 2 回目。決勝 1 回目の結果の下位者から上位者の順に 1 人ずつ単独走行する方法で実施しました。スタートするゲートは全選手の出走待機席への召集を終えた後で発表し、スタート直前には個々の選手に簡単なインタビューをしました。また、走行を終えた選手のうち、その時点で上位 3 位以内の選手には「トップ 3 選手席」に座ってもらい、最終走者（決勝 1 回目の 1 位の選手）が走行を終えた瞬間に、1 位から 3 位の選手がすぐに分かるようにしました。

前日の講師の皆さんのデモ走行でも使用した中間計時システムも作動させ、レース展開がリアルタイムで把握できるようにしました。



10 時 55 分、Basic Class 決勝 2 回目スタート。スタートゲートは 2 コース（I N）。





決勝1回目4位の静岡県立科学技術高等学校、伊藤元気さん。

スタートから滑らかな走行で、中間計時もマイナス表示（それまでの最速者より速いタイム）で走行していたものの、終盤の「湖カーブ」（オメガグループ）で惜しくも脱輪してしまいました。



決勝1回目3位の長野県岡谷工業高等学校、宮澤真生さん。

安定した走りで完走し、決勝1回目を上回る28.44秒を出して、暫定1位に立ちました。



決勝1回目2位の和歌山県立紀北工業高等学校、堀田顕大さん。

前に走った宮澤さんの好記録により、走行前に示された「To Beat」（トップに立つのに必要な記録）は28.62秒。自身の決勝1回目の記録を超えなければ勝てない条件でした。

走行中の中間計時でマイナス表示を出しながら順調に走行してゴール。表示された記録は28.61秒。2回の合計タイム57.48秒となり、岡谷工業高校の宮澤さんの合計タイム57.49秒との差0.01秒で辛くも勝利、暫定1位に立つと、僅差の勝負に会場から大きな歓声と拍手が湧きました。



決勝1回目1位の和歌山県立紀北工業高等学校、玉置拳斗さん。

決勝1回目で大きなアドバンテージを持っていたため、1回目と同様に完走すれば優勝できる条件でした。

危なげない走行で完走し、27.91秒とただ一人27秒台の記録を出して、決勝1回目、2回目ともにトップタイムで完全優勝。大きな拍手が贈られました。



Basic Class 決勝終了後、トップ3選手のインタビュー。左から、優勝：和歌山県立紀北工業高等学校 玉置拳斗さん、準優勝：和歌山県立紀北工業高等学校 堀田顕大さん、第3位：長野県岡谷工業高等学校 宮澤真生さん。



いよいよ次は2018信州総文祭マイコンカーラリー大会最後の競技、Advanced Class 決勝2回目。決勝1回目の上位20人が召集され、出走待機場所に揃いました。



11時30分、Advanced Class 決勝2回目スタート。スタートゲートはBasic Classと同じ2コース(I N)。ゴール間近の直線から飛び出す下り坂の通過が勝負を分ける大きなポイントになります。



昨年のプレ大会 Advanced Class で優勝した、富山県立富山工業高等学校、五十嵐俊太さん。決勝2回とも16秒前半を記録して、総合9位になりました。



昨年のプレ大会 Advanced Class 準優勝の、長野県駒ヶ根工業高等学校、小池寿晏さん。  
 決勝1回目では 15 秒台を記録して4位につけたものの、2回目の走行途中で挙動を乱し、総合5位。



決勝1回目3位の長野県駒ヶ根工業高等学校、河内健汰郎さん。  
 2回目も安定した走行で1回目とほぼ同じタイム 15.88 秒を出し、暫定1位に立ちました。



決勝1回目2位の和歌山県立紀北工業高等学校、西祐利さん。

決勝1回目1位の岐阜県立可児工業高等学校、近藤さんとのタイム差は僅か0.02秒で、十分逆転可能な条件。

走行終盤の高速クランクで脱輪直前まで車体が乱れてひやりとしたものの、決勝1回目と同タイムの15.52秒を出して堂々の暫定1位。後に走る後藤さんに大きなプレッシャーをかけました。



いよいよ2018信州総文祭マイコンカーラリー大会最後の走者、決勝1回目1位の岐阜県立可児工業高等学校、近藤雅裕さんの順番。会場の注目が集まりました。



近藤さんのマイコンカーは、スタートからまったく乱れない安定した走行で駆け抜けていきます。ゴールの瞬間タイマーに表示された記録は、今大会最速の15.41秒。予選、決勝1回目、決勝2回目すべて1位を記録しての完全優勝でした。



Advanced Class 決勝終了後、トップ3選手のインタビュー。左から、優勝：岐阜県立可児工業高等学校 近藤雅裕さん、準優勝：和歌山県立紀北工業高等学校 西祐利さん、第3位：長野県駒ヶ根工業高等学校 河内健汰郎さん。



## エキシビジョン

Advanced Class トップ3選手のインタビューが進む中、競技コースではエキシビジョンの準備が進んでいました。

エキシビジョンは、2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会の講師・審査員であり、前日の技術交流会でプレゼンとデモ走行をしていただいた河野純也さんと徳永弦久さんの対戦から始まりました。Advanced Class 決勝の後にメンテナンスをおこなった競技コースが、万全の状態出走を待っています。



両者相談の結果、河野さんが1コース、徳永さんが2コースからのスタート。ゲートオープンと同時にあっという間に加速して、河野さんは日の出から山脈のスラロームセクションへ、徳永さんは連続車線変更から連続クランクのセクションへ進みます。2台とも各要素のつながが大変スムーズで、流れるように走ります。河野さんが終盤の連続クランクを抜けるころ、ちょうどその上を徳永さんのマイコンカーが交差して下り坂に突入。ゴールへ向かう直線で両者が並走するクライマックスは、コースレイアウトを考えたときのイメージ通りでした。IN側の徳永さんが一瞬早くゴールゲートを通過。タイマーに記録された記録は、河野さんが15.32秒、徳永さんは驚異的なコースレコード15.14秒。素晴らしいエキシビジョンマッチを見せていただきました。



いよいよ2018信州総文祭マイコンカーラリー大会最後の走行。講師同士のエキシビジョンマッチを制した徳永さんに、Advanced Class 優勝の岐阜県立可児工業高等学校、近藤さんが挑戦します。インタビューを終えて準備を整えた近藤さん。徳永さんはエキシビジョン1回目のおとタイヤを軽く拭いただけですぐに出走準備に入ります。



ゲートオープンと同時に、近藤さんのマイコンカーが目の覚めるような加速感で左カーブから連続車線変更を駆け抜けます。徳永さんのマイコンカーもスラロームセクションを軽快に走り抜けます。



徳永さんのマイコンカーがIN側のゲートを通ると、勝負の終盤、連続車線変更から連続クラックへ。そのころ近藤さんのマイコンカーは湖カーブを抜けて上り坂を駆け上がっていきます。徳永さんのマイコンカーの一瞬後から追う形で近藤さんのマイコンカーが直線から下り坂へ突入。その後の直線で加速しながら両者最後の左カーブへ。





ゴールの瞬間。どちらが勝ったのか？肉眼ではわからない勝負。タイマーに表示された記録は、1コースの徳永さんが15.26秒、2コースの近藤さんが15.30秒。その差0.04秒。2回連続の徳永さんの素晴らしい走りはもちろん、決勝の最速記録を大きく上回る記録を出して見せた近藤さんのチャレンジも素晴らしく、最高のエキシビジョンマッチとなりました。河野さんを含め、エキシビジョンに参加していただいた皆さんに惜しめない拍手が贈られました。

2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会の、すべての走行が終わった瞬間でした。

#### 表彰式・閉会式

13時、表彰式、閉会式の開始。結果発表のあと、競技部門ごとに表彰状とトロフィーの授与がおこなわれました。



Advanced Class 優勝 岐阜県立可児工業高等学校、近藤雅裕さん。



Advanced Class 入賞者 右から 優勝：岐阜県立可児工業高等学校 近藤雅裕さん、準優勝：和歌山県立紀北工業高等学校 西祐利さん、第3位：長野県駒ヶ根工業高等学校 河内建汰郎さん、第4位：富山県立富山工業高等学校 細岡圭佑さん、第5位：長野県駒ヶ根工業高等学校 小池寿晏さん、第6位：和歌山県立紀北工業高等学校 木村裕貴さん、第7位：和歌山県立紀北工業高等学校 正木克実さん、第8位：長野県駒ヶ根工業高等学校 矢野隼佑さん。



Basic Class 入賞者 右から 優勝：和歌山県立紀北工業高等学校 玉置拳斗さん、準優勝：和歌山県立紀北工業高等学校 堀田頭大さん、第3位：長野県岡谷工業高等学校 宮澤真生さん。



横Gコンテスト優勝 栃木県立宇都宮工業高等学校、鈴木俊祐さん。



講師の河野さん、徳永さんからは、審査員特別賞を選出いただきました。

河野さんからの特別賞は、走りの正確さやカーネームなどに注目して愛知県立春日井工業高等学校のパロ シャイラ マリ アルセさんに贈られました。また、徳永さんからの特別賞は、逆走になった決勝で予選記録から一気にタイムアップするチャレンジをした石川県立金沢北稜高等学校の棚橋亮斗さんに贈られました。



河野さん、徳永さんからは引き続き大会の講評をいただきました。

ご多忙の中ご参加いただいた講師の皆様には、大会中様々な場面でご協力いただき、大会を大変盛り上げていただきました。



閉会式も終盤。閉会宣言を前に、今回の2018信州総文祭マイコンカーラリー大会を振り返るスライドショーが、2018信州総文祭の大会イメージソング「ここに」にのせて上映されました。

～ 私たちの今は 青春はここにある 散らばっては集まり 受け取っては渡して  
大切なものたちは 近すぎるとわからない 離れると気付くんだ そんな日々が宝物  
何があっても大丈夫 暖かなこのふるさと 大切な仲間たち どんなときもここにある  
そんな日々が宝物 ～ (2018信州総文祭大会イメージソング ここに より)

最後に、2018信州総文祭 産業（工業）部門生徒部会長 長野県飯田OIDE長姫高等学校、池田尚央さんが、大会開催への感謝や、総文祭の中での仲間のつながりのこと、それらを今後活かしていくことなどを述べ、大会の閉会を宣言しました。



3日間選手紹介や進行のアナウンスを担当してくれた長野県駒ヶ根工業高等学校の2人の生徒にも、会場から惜しみない拍手が贈られました。



2018 信州総文祭 産業（工業）部門生徒部会最後の仕事。それは参加していただいた皆さんの見送り。閉会式が終了すると、生徒部会の生徒たちは揃いのオレンジ色のTシャツを着たままエントランスに並び、会場を後にする皆さんに大きな声で感謝の挨拶をしていました。「接遇」という言葉を胸に、自分のマイコンカーよりも「おもてなし」を優先させて全国総文祭を駆け抜けた、長野県生徒部会の最後の姿でした。



平成 30 年 8 月 11 日 17 時。

第 42 回全国高等学校総合文化祭 産業（工業）部門 2018 信州総文祭マイコンカラー大会は、全日程を無事に終了しました。

すべての片づけを終えた会場は、すでに平静を取り戻していました。

この夏、本当に暑かったこの夏に、信州に集まった皆様、ありがとうございました。

マイコンカラーを一つの文化として結実させたこの 3 日間。持ち帰った花の種子が、いつか美しい花々を咲かせることを願っています。



2018 信州総文祭 マイコンカーラリー大会 参加校一覧

No.	都道府県	学校名	Basic Class	Advanced Class	合計	予選グループ
1	福島	福島県立郡山北工業高等学校	1	0	1	1
2	福島	福島県立勿来工業高等学校	0	2	2	
3	栃木	栃木県立那須清峰高等学校	1	0	1	
4	栃木	栃木県立今市工業高等学校	0	2	2	
5	栃木	栃木県立宇都宮工業高等学校	0	1	1	
6	栃木	栃木県立栃木工業高等学校	1	0	1	
7	栃木	栃木県立佐野松桜高等学校	1	0	1	
8	群馬	群馬県立前橋工業高等学校	2	1	3	
9	群馬	群馬県立館林商工高等学校	0	2	2	
10	富山	富山県立富山工業高等学校	2	3	5	
11	富山	不二越工業高等学校	5	0	5	
12	富山	富山県立高岡工芸高等学校	0	1	1	
13	富山	富山県立砺波工業高等学校	0	4	4	
14	石川	石川県立金沢北陵高等学校	3	2	5	
15	静岡	静岡県立科学技術高等学校	3	2	5	
16	静岡	静岡県立藤枝北高等学校	3	4	7	
17	静岡	静岡県立浜松工業高等学校	3	2	5	
18	愛知	愛知県立春日井工業高等学校	0	2	2	
19	岐阜	岐阜県立可児工業高等学校	1	4	5	
20	岐阜	岐阜県立大垣工業高等学校	3	6	9	
21	大阪	大阪市立東淀工業高等学校	6	0	6	2
22	和歌山	和歌山県立紀北工業高等学校	2	3	5	
23	広島	広島県立呉工業高等学校	2	3	5	
24	広島	広島県立広島工業高等学校	0	2	2	
25	香川	香川県立観音寺総合高等学校	0	1	1	
26	愛媛	愛媛県立新居浜工業高等学校	1	2	3	
27	宮崎	宮崎県立延岡工業高等学校	1	0	1	
28	沖縄	沖縄県立名護商工高等学校	0	1	1	
29	沖縄	沖縄県立浦添工業高等学校	2	0	2	
30	沖縄	沖縄県立南部工業高等学校	0	1	1	
31	長野	長野県池田工業高等学校	2	0	2	
32	長野	長野県上田千曲高等学校	0	4	4	
33	長野	長野県佐久平総合技術高等学校	3	2	5	
34	長野	長野県岡谷工業高等学校	5	3	8	
35	長野	長野県駒ヶ根工業高等学校	0	8	8	
36	長野	長野県飯田OIDE長姫高等学校	0	7	7	
		合計	53	75	128	

※広島県立呉工業高等学校は、平成 30 年 7 月の豪雨災害により参加を断念した

## 2018 信州総文祭 マイコンカーラリー大会 結果

### 1 表彰対象者

#### 【Basic Class】

優 勝	玉置 拳斗	和歌山県立紀北工業高等学校
準優勝	堀田 顕大	和歌山県立紀北工業高等学校
第3位	宮澤 真生	長野県岡谷工業高等学校

#### 【Advanced Class】

優 勝	近藤 雅裕	岐阜県立可児工業高等学校
準優勝	西 祐利	和歌山県立紀北工業高等学校
第3位	河内 建汰郎	長野県駒ヶ根工業高等学校
第4位	細岡 圭佑	富山県立富山工業高等学校
第5位	小池 寿晏	長野県駒ヶ根工業高等学校
第6位	木村 裕貴	和歌山県立紀北工業高等学校
第7位	正木 克実	和歌山県立紀北工業高等学校
第8位	矢野 隼佑	長野県駒ヶ根工業高等学校

#### 【横Gコンテスト】

優 勝	鈴木 俊祐	栃木県立宇都宮工業高等学校
-----	-------	---------------

### 2 各部門決勝結果

決勝は2回走行してその合計タイムで順位を決定した（決勝2回目への進出は決勝1回目の結果から Basic Class：上位10台、Advanced Class：上位20台）。決勝1回目は2台並走、決勝2回目は単独走行。記録なしの場合は、ペナルティタイムとして1分30秒を加算した。

決勝は予選と逆方向への走行とし、コースレイアウトも若干変更して実施した。

#### 【Basic Class 決勝結果】

順位	選手名	カーネーム	決勝1回目記録	決勝2回目記録	合計タイム	学校名
1	玉置 拳斗	紀北 A	00:28.50	00:27.91	00:56.41	和歌山県立紀北工業高等学校
2	堀田 顕大	紀北 B	00:28.87	00:28.61	00:57.48	和歌山県立紀北工業高等学校
3	宮澤 真生	肉まん	00:29.05	00:28.44	00:57.49	長野県岡谷工業高等学校
4	宮井 友利	NTBP-2019β	00:29.81	00:29.52	00:59.33	宮崎県立延岡工業高等学校
5	佐藤 柊也	ib-SS	00:31.57	00:30.60	01:02.17	岐阜県立可児工業高等学校
6	伊藤 瑠真	Pomyka	00:31.62	00:31.73	01:03.35	長野県岡谷工業高等学校
7	大宮 諒真	栃工	00:33.42	00:33.50	01:06.92	栃木県立栃木工業高等学校
8	棚橋 亮斗	prevention	00:34.88	00:35.54	01:10.42	石川県立金沢北陵高等学校
9	伊藤 元気	コンギョ	00:29.45	DNF	01:59.45	静岡県立科学技術高等学校
10	浅賀 祐希	アンパンマン	00:31.15	DNF	02:01.15	長野県岡谷工業高等学校
11	室井 洸亮	リョザックVB	00:38.88			岐阜県立大垣工業高等学校
12	比田井 智稀	ゴッシー	00:46.20			長野県佐久平総合技術高等学校

順位	選手名	カーネーム	決勝1回目記録	決勝2回目記録	合計タイム	学校名
13	神野 成央樹	新工2018	DNF			愛媛県立新居浜工業高等学校
14	池上 航基	バイキンマン	DNF			長野県岡谷工業高等学校
15	清水 悠平	strong	DNF			富山県立富山工業高等学校
16	砂川 世理哉	浦工情技5号	DNF			沖縄県立浦添工業高等学校
17	松木 優太	FTH METAL	DNF			不二越工業高等学校
18	長岡 滉人	50号	DNF			群馬県立前橋工業高等学校
19	小西 真気	清峰号	DNF			栃木県立那須清峰高等学校
20	赤坂 優一	はじめ二号	DNF			栃木県立佐野松桜高等学校
21	宮地 智羽	知的成魚3	DNF			静岡県立浜松工業高等学校
22	水野 壮琉	ハツ	DNF			長野県池田工業高等学校
23	濱 倭斗	ハーマー2	DNF			大阪市立東淀工業高等学校
24	福井 喜朗	雷神卿	DNF			静岡県立藤枝北高等学校
25	阿部 瑛	激草君	DNF			福島県立郡山北工業高等学校
26	真道 駿平	ホラーマン	DNF			長野県岡谷工業高等学校
27	飯田 陸斗	なみ	DNF			静岡県立科学技術高等学校
28	石橋 健太郎	エンゼルフレンチ	DNF			静岡県立科学技術高等学校
29	古堅 幹歩	浦工情技6号	DNF			沖縄県立浦添工業高等学校
30	新村 大稀	FTH SILVER	DNF			不二越工業高等学校

【Advanced Class 決勝結果】

順位	選手名	カーネーム	決勝1回目記録	決勝2回目記録	合計タイム	学校名
1	近藤 雅裕	i-Cuagain	00:15.50	00:15.41	00:30.91	岐阜県立可児工業高等学校
2	西 祐利	紀北M2B	00:15.52	00:15.52	00:31.04	和歌山県立紀北工業高等学校
3	河内 建汰郎	次郎号	00:15.87	00:15.88	00:31.75	長野県駒ヶ根工業高等学校
4	細岡 圭佑	翻車魚	00:16.07	00:15.75	00:31.82	富山県立富山工業高等学校
5	小池 寿晏	鶴	00:15.88	00:16.09	00:31.97	長野県駒ヶ根工業高等学校
6	木村 裕貴	紀北スイッチ	00:16.05	00:15.97	00:32.02	和歌山県立紀北工業高等学校
7	正木 克実	紀北霧島	00:16.15	00:16.13	00:32.28	和歌山県立紀北工業高等学校
8	矢野 隼佑	橘花	00:16.12	00:16.39	00:32.51	長野県駒ヶ根工業高等学校
9	五十嵐 俊太	ストームルーラー	00:16.45	00:16.12	00:32.57	富山県立富山工業高等学校
10	牧田 敏明	Onyx	00:16.46	00:16.38	00:32.84	長野県駒ヶ根工業高等学校
11	白濱 夏生	テスター-HAMA	00:16.62	00:16.58	00:33.20	岐阜県立大垣工業高等学校
12	ハロ シャイラ マリ アルセ	櫻	00:16.80	00:16.72	00:33.52	愛知県立春日井工業高等学校
13	馬淵 優	テスター-YOU	00:16.73	00:16.81	00:33.54	岐阜県立大垣工業高等学校
14	天木 開士	テスター-AMA	00:16.75	00:16.87	00:33.62	岐阜県立大垣工業高等学校
15	北澤 悠和	穂高	00:16.88	00:16.84	00:33.72	長野県駒ヶ根工業高等学校
16	合田 凌	TZR秋刀魚	00:17.04	00:16.91	00:33.95	愛媛県立新居浜工業高等学校
17	荒川 諒	KS	00:17.19	00:17.02	00:34.21	香川県立観音寺総合高等学校
18	佐々木 大地	DS	00:17.01	00:17.44	00:34.45	長野県飯田OIDE長姫高等学校
19	池田 尚央	Novi1	00:17.51	00:17.21	00:34.72	長野県飯田OIDE長姫高等学校
20	谷田 龍聖	OPT-DEN	00:17.42	00:17.39	00:34.81	富山県立砺波工業高等学校
21	森下 一哉	森kaズ	00:17.57			長野県飯田OIDE長姫高等学校
22	小澤 侑治	776	00:17.69			長野県飯田OIDE長姫高等学校
23	井戸 亮太	KENKO-Ido	00:17.93			広島県立広島工業高等学校
24	大滝 尊春	朝潮	00:18.12			群馬県立前橋工業高等学校
25	塚原 智樹	tea	00:18.19			長野県飯田OIDE長姫高等学校
26	藤本 将	不知火	00:18.41			長野県飯田OIDE長姫高等学校
27	村上 浩輔	マシンアテナ	DNF			富山県立富山工業高等学校
28	永森 将翔	あかがね	DNF			愛媛県立新居浜工業高等学校
29	富田 光流	テスター-HIKARU	DNF			岐阜県立大垣工業高等学校
30	富岡 直哉	ZERO	DNF			福島県立勿来工業高等学校
31	上原 豊貴	log	DNF			沖縄県立南部工業高等学校
32	中谷 心哉	ハヤブサ丸	DNF			富山県立高岡工芸高等学校
33	須崎 龍玖	月虹	DNF			長野県岡谷工業高等学校
34	根岸 大智	めんつゆ	DNF			群馬県立館林商工高等学校
35	薬科 優人	ヘテルビルダー	DNF			静岡県立科学技術高等学校
36	望月 諒	しさくいちごう	DNF			栃木県立今市工業高等学校
37	鈴木 俊祐	子機研2号	DNF			栃木県立宇都宮工業高等学校
38	豊里 亜門	ザ・名護ミヤザト	DNF			沖縄県立名護商工高等学校
39	片桐 翔太	FOX	DNF			長野県佐久平総合技術高等学校
40	山宮 光貴	あずさM1	DNF			長野県上田千曲高等学校
41	古橋 壮真	うたのん	DNF			静岡県立浜松工業高等学校
42	重光 和樹	閃	DNF			静岡県立藤枝北高等学校
43	土井 翔平	ハインリッヒ	DNF			石川県立金沢北陵高等学校
44	佐藤 健真	i-Suger	DNF			岐阜県立可児工業高等学校
45	久保村 将希	GT-R	DNF			長野県駒ヶ根工業高等学校
46	谷山 祐樹	i-DwonUp	DNF			岐阜県立可児工業高等学校
47	井戸 泰良	i-do改	DNF			岐阜県立可児工業高等学校
48	重原 良太郎	OPT-NEW	DNF			富山県立砺波工業高等学校
49	川島 大和	OPT-NANO	DNF			富山県立砺波工業高等学校
50	佐々木 渉	Switch	DNF			長野県飯田OIDE長姫高等学校

【横Gコンテスト結果】

順位	選手名	カーネーム	記録[°]	学校名
1	鈴木 俊祐	子機研2号	69.22	栃木県立宇都宮工業高等学校
2	上原 豊貴	log	64.77	沖縄県立南部工業高等学校
3	根岸 大智	めんつゆ	63.96	群馬県立館林商工高等学校
4	小池 寿晏	鶴	63.89	長野県駒ヶ根工業高等学校
5	土井 翔平	ハインリッヒ	63.45	石川県立金沢北陵高等学校
6	佐藤 健真	i-Suger	63.10	岐阜県立可児工業高等学校
7	宮井 友利	NTBP-2019β	62.92	宮城県立延岡工業高等学校
8	中山 航太	ティル	62.51	福島県立勿来工業高等学校
9	村上 直	FTH GOLD	61.86	不二越工業高等学校
10	塚原 智樹	tea	61.66	長野県飯田OIDE長姫高等学校
11	小引 廉	Daisuke 妖夢	60.81	長野県岡谷工業高等学校
12	合田 凌	TZR秋刀魚	60.78	愛媛県立新居浜工業高等学校
13	古橋 壮真	うたのん	60.36	静岡県立浜松工業高等学校
14	白濱 夏生	テスターHAMA	59.20	岐阜県立大垣工業高等学校
15	五十嵐 俊太	ストームルーラー	58.90	富山県立富山工業高等学校
16	阿部 秀斗	石像Prime	58.41	長野県上田千曲高等学校
17	屈 龍龍	DarkMatter	57.51	静岡県立科学技術高等学校
18	片桐 翔太	FOX	57.29	長野県佐久平総合技術高等学校
19	村松 汰一	俺の嫁	56.61	静岡県立藤枝北高等学校
20	中谷 心哉	ハヤブサ丸	56.12	富山県立高岡工芸高等学校
21	阿部 瑛	激草君	56.12	福島県立郡山北工業高等学校
22	長原 直也	KENKO-Jr	56.09	広島県立広島工業高等学校
23	木村 裕貴	紀北スイッチ	55.58	和歌山県立紀北工業高等学校
24	バロ シャイラ マリ アルセ	櫻	54.92	愛知県立春日井工業高等学校
25	大滝 尊春	朝潮	54.89	群馬県立前橋工業高等学校

### 3 各部門予選完走者

#### 【Basic Class 予選完走者】

順位	選手名	カーネーム	記録	学校名
1	玉置 拳斗	紀北 A	00:27.25	和歌山県立紀北工業高等学校
2	神野 成央樹	新工2018	00:27.37	愛媛県立新居浜工業高等学校
3	堀田 顕大	紀北 B	00:27.66	和歌山県立紀北工業高等学校
4	池上 航基	バイキンマン	00:27.70	長野県岡谷工業高等学校
5	伊藤 元気	コンギョ	00:28.50	静岡県立科学技術高等学校
6	宮澤 真生	肉まん	00:28.76	長野県岡谷工業高等学校
7	宮井 友利	NTBP-2019β	00:29.19	宮崎県立延岡工業高等学校
8	真道 駿平	ホラーマン	00:29.40	長野県岡谷工業高等学校
9	飯田 陸斗	なみ	00:29.90	静岡県立科学技術高等学校
10	伊藤 瑠真	Pomyka	00:29.93	長野県岡谷工業高等学校
11	佐藤 柗也	ib-SS	00:30.43	岐阜県立可児工業高等学校
12	浅賀 祐希	アンパンマン	00:30.46	長野県岡谷工業高等学校
13	清水 悠平	strong	00:30.83	富山県立富山工業高等学校
14	石橋 健太郎	エンゼルフレンチ	00:30.95	静岡県立科学技術高等学校
15	砂川 世理哉	浦工情技5号	00:31.76	沖縄県立浦添工業高等学校
16	古堅 幹歩	浦工情技6号	00:32.70	沖縄県立浦添工業高等学校
17	大宮 諒真	栃工	00:32.79	栃木県立栃木工業高等学校
18	松木 優太	FTH METAL	00:33.61	不二越工業高等学校
19	長岡 滉人	50号	00:33.64	群馬県立前橋工業高等学校
20	小西 真気	清峰号	00:34.34	栃木県立那須清峰高等学校
21	新村 大稀	FTH SILVER	00:35.09	不二越工業高等学校
22	赤坂 優一	はじめ二号	00:35.44	栃木県立佐野松桜高等学校
23	村上 直	FTH GOLD	00:36.14	不二越工業高等学校
24	棚橋 亮斗	prevention	00:36.35	石川県立金沢北陵高等学校
25	室井 洸亮	リョザックVB	00:37.13	岐阜県立大垣工業高等学校
26	佐藤 海聖	リスクアセス	00:37.77	石川県立金沢北陵高等学校
27	小村 朱音	危険予知	00:37.84	石川県立金沢北陵高等学校
28	宮地 智羽	知的成魚3	00:38.05	静岡県立浜松工業高等学校
29	藤谷 和樹	FTH BRONZE	00:39.10	不二越工業高等学校
30	幸田 光海	知的成魚2	00:39.12	静岡県立浜松工業高等学校
31	岩永 丈	リョザック快調	00:40.16	岐阜県立大垣工業高等学校
32	比田井 智稀	ゴッシー	00:43.70	長野県佐久平総合技術高等学校
33	内堀 優太	UY	00:44.51	長野県佐久平総合技術高等学校
34	治部 唯人	知的成魚1	00:47.55	静岡県立浜松工業高等学校
35	上原 拓真	SSG	00:50.08	長野県佐久平総合技術高等学校
36	水野 壮琉	ハツ	00:50.51	長野県池田工業高等学校
37	玉井 亮太	だいご	01:00.24	長野県池田工業高等学校

【Advanced Class 予選完走者】

順位	選手名	カーネーム	記録	学校名
1	近藤 雅裕	i-Cuagain	00:15.44	岐阜県立可児工業高等学校
2	佐藤 健真	i-Suger	00:15.55	岐阜県立可児工業高等学校
3	西 祐利	紀北M2B	00:15.71	和歌山県立紀北工業高等学校
4	村上 浩輔	マシンアテナ	00:15.77	富山県立富山工業高等学校
5	木村 裕貴	紀北スイッチ	00:15.82	和歌山県立紀北工業高等学校
6	細岡 圭佑	翻車魚	00:15.83	富山県立富山工業高等学校
7	五十嵐 俊太	ストームルーラー	00:15.92	富山県立富山工業高等学校
8	河内 建汰郎	次郎号	00:16.00	長野県駒ヶ根工業高等学校
9	小池 寿晏	鵠	00:16.04	長野県駒ヶ根工業高等学校
10	牧田 敏明	Onyx	00:16.09	長野県駒ヶ根工業高等学校
11	久保村 将希	GT-R	00:16.09	長野県駒ヶ根工業高等学校
12	正木 克実	紀北霧島	00:16.20	和歌山県立紀北工業高等学校
13	矢野 隼佑	橘花	00:16.30	長野県駒ヶ根工業高等学校
14	谷山 祐樹	i-DwonUp	00:16.35	岐阜県立可児工業高等学校
15	永森 将翔	あかがね	00:16.43	愛媛県立新居浜工業高等学校
16	富田 光流	テスターHIKARU	00:16.45	岐阜県立大垣工業高等学校
17	合田 凌	TZR秋刀魚	00:16.57	愛媛県立新居浜工業高等学校
18	井戸 泰良	i-do改	00:16.62	岐阜県立可児工業高等学校
19	馬淵 優	テスターYOU	00:16.66	岐阜県立大垣工業高等学校
20	白濱 夏生	テスターHAMA	00:16.69	岐阜県立大垣工業高等学校
21	荒川 諒	KS	00:16.70	香川県立観音寺総合高等学校
22	天木 開士	テスターAMA	00:16.77	岐阜県立大垣工業高等学校
23	パロ シャイラ マリ アルセ	櫻	00:16.81	愛知県立春日井工業高等学校
24	池田 尚央	Novi1	00:16.94	長野県飯田OIDE長姫高等学校
25	谷田 龍聖	OPT-DEN	00:17.10	富山県立砺波工業高等学校
26	佐々木 大地	DS	00:17.20	長野県飯田OIDE長姫高等学校
27	森下 一哉	森kaズ	00:17.31	長野県飯田OIDE長姫高等学校
28	北澤 悠和	穂高	00:17.40	長野県駒ヶ根工業高等学校
29	重原 良太郎	OPT-NEW	00:17.46	富山県立砺波工業高等学校
30	小澤 侑治	776	00:17.61	長野県飯田OIDE長姫高等学校
31	川島 大和	OPT-NANO	00:17.75	富山県立砺波工業高等学校
32	富岡 直哉	ZERO	00:17.77	福島県立勿来工業高等学校
33	上原 豊貴	log	00:17.78	沖縄県立南部工業高等学校
34	大滝 尊春	朝潮	00:17.92	群馬県立前橋工業高等学校
35	藤本 将	不知火	00:18.06	長野県飯田OIDE長姫高等学校
36	佐々木 涉	Switch	00:18.10	長野県飯田OIDE長姫高等学校
37	塚原 智樹	tea	00:18.13	長野県飯田OIDE長姫高等学校
38	中谷 心哉	ハヤブサ丸	00:18.41	富山県立高岡工業高等学校
39	須崎 龍玖	月虹	00:18.52	長野県岡谷工業高等学校
40	佐藤 直也	バー君Ver. 4.0	00:18.71	長野県岡谷工業高等学校
41	江本 大誠	St@r	00:19.30	愛知県立春日井工業高等学校
42	根岸 大智	めんつゆ	00:20.02	群馬県立館林商工高等学校
43	藁科 優人	ヘテルビルダー	00:23.11	静岡県立科学技術高等学校
44	望月 諒	しさくいちごう	00:26.38	栃木県立今市工業高等学校
45	鈴木 俊祐	子機研2号	00:31.87	栃木県立宇都宮工業高等学校
46	豊里 亜門	ザ・名護ミヤザト	00:32.73	沖縄県立名護商工高等学校

